

## 大学入試はこんなに変わっている!!

問題 じゃんけんの選択肢「グー」「チョキ」「パー」に、「キュー」という選択肢も加えた新しいゲームを考えなさい。解答は、新ゲームの目的及ルールを説明するとともに、その新ゲームの魅力あるいは難点も含めて、601字以上1000字以内で論じなさい。(2018年度早稲田大学スポーツ科学部小論文問題より)



グー



チョキ



パー



キュー

この入試問題に答えるために必要な力は……

## 想像する力

今までの経験や、経験していないことも含め、さまざまな状況や道の中で「想像する力」が必要!

## 根拠を言語化する力

自分が考えた根拠を、明らかにしながら書いて説明する力が必要!

## クリティカルシンキング

「難点」を説明するためには、批判的、多角的、多面的に考える力が必須!

## 意思決定力

想像・思考したうえで、「これだ!」という自分の意思を表現する力が必須!

## 共有する力

小論文として採点されるので、読み手の納得を得られるように表現する力が必須!

イマどき

コレだけは知っておきたい! 教育NEWS

## 教育改革が目指すもの

## 今、必須の学力は未知の問題に挑む思考力・判断力・表現力!

2020年度から小学校で、2021年度からは中学校でも、新学習指導要領による教育が始まっています。新学習指導要領の柱のひとつが「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力」。「今、学力を問いつける」と言う石川 一郎さんに、これからの学習のポイントをうかがいました。

## 今、身につけたい学力は未知の状況に対応できる力

昨年から、小学校の通知表が変わったことにお気づきの方もいらっしゃると思います。今年4月からは、中学校も変わります。これは、学習指導要領が変わったからです。新学習指導要領では、育成したい資質・能力として、次の3つの柱を掲げています。

- ① 生きて働く「知識・技能」の習得
- ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」等の育成
- ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」等の涵養

これまでの教育は、①の「知識・技能」に重きが置かれ、知識をただ知っているか、覚えていくかが重視される傾向にありました。しかし、これまでの経験が通用しない、前例のない問題や正解のない問題、正解がひとつではない問題に対処するには、既習の「知識・技能」だけでは限界があります。そこで、「②の『未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力』」を育てることが必要だ、という議論が10年ほど前からさかんに行われるようになりました。それが、今回の学習指導要領の改訂につながったのです。

新学習指導要領は、今後予想される社会や世界の未知の状況に対応できるように、今までの日本の教育で問題になっていたことを解決しようと改訂されたものです。「未知の状況」といえば、まさしく今がそうです。

## 「思考力・判断力・表現力」とはどのような力か?

「思考力・判断力・表現力」と言われても具体的にどんな力なのかわからない、という保護者の方も多いと思います。具体例で説明しましょう。たとえば、「子どもに『今日の夕飯は何か食べたい?』と聞いたとします。「カレーライス」と答えるのが「判断力」。『どうして?』と聞いたとき、『だって、最近辛いものを食べたくないから』と答えるのが「思考力」。「表現力」です。「こんなことでいいの?』と思われるかもしれませんが、「なぜそう思ったの?」「どうしてそう考えたの?』という問いに、「根拠をもって理由を答える。そこから、子どもも『思考力・判断力・表現力』のトレーニングが始まります。実は日常生活が『思考力・判断力・表現力』の連続なのです。

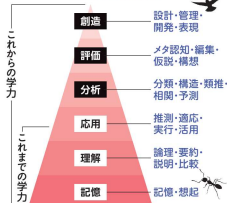
## お話しくださったのは……



石川 一郎さん  
早稲田大学  
カキタムラカミナシヤ

1962年東京都生まれ。早稲田大学教育学部社会学科地理歴史専修卒業。30年にわたる中高で教鞭をとり、かつ有明中・高等学校校長、香里ヌヴェール学院院長を務めたあと現職。著書に「2020年からの新しい学力」「学校の大問題 これからの「教育リスク」を考える」(ともにSB選書)など。

## ブルーム・タクソノミーによる これからの学力



※ブルーム・タクソノミーとは、アメリカの認知心理学者ブルームによる教育目標の分類学。上記は改訂版。

「虫の目」は、近い距離から多角的に物事を見ることで、逆に「鳥の目」は、離れたところから俯瞰的に全体を見ることです。

デジタル技術やAIの進化によって、私たちの生活は大きく変わってきています。スマートフォンはもとより、ロボット掃除機しかり、スマートスピーカーしかり。昔は、図書館に行ってきたさんの文献にあたって調べていた知識が、今は手元の操作で一瞬で手に入ることが可能です。しかし、こうした便利さと引き換えに、私たちの「思考力」は鈍ってきてはいないでしょうか。

精選された基礎・基本となる「知識」は、もちろん必要です。問題は、「知識を使って、どのようなプロセスで、どのように考えるか」「考えたことを、どのように人に伝えるか」なのです。

私たちの思考プロセスを言語化したものに「ブルーム・タクソノミー」があります（左の図）。いちばん高次の「創造」まで思考を高めるには、知識の「記憶」「理解」が欠かせません。しかし、これだけではない。「虫の目」の思考です。これからは、記憶・理解した「知識・技能」を「応用」、エ

## 「虫の目」と「鳥の目」を 柔軟に行き来しながら考える

ピデンス（証拠）となるデータを集めて「分析し、それを他者と意見交換するなど（客観的に）評価する」「鳥の目」の思考（メタ認知）も大切です。そして、自己決定する力が「創造」です。

21世紀を生きる子どもたちには、「虫の目」と「鳥の目」を行ったり来たりしながら考える力が非常に重要だということを、ご理解いただきたいと思えます。

## 根拠を明らかにして 自分でどうするかを決める習慣を

これまでの日本の教育は、ほぼ「記憶」「理解」の「虫の目」だけで終わっていました。しかし、これからは、「鳥の目」のように、離れたところから問題を俯瞰して見て「これいいのか？」「考える想像力やクリティカルシンキングが求められる。そのうえで、意思決定を働かせ、自分の次の行動を決めていくわけです。

AIは、膨大なデータを蓄積する「記憶」はもちろんなこと、それを「分析」するのは大得意です。しかし、その意味付けをする「評価」や「創造」は、人間にしかできません。

新型コロナウイルスを例にとりてもわかります。感染症数推移のグラフを見て「〇〇県の感染者数が増加傾向だから、改めて自衛隊を引き締めよう」とか「ちよっと喉が痛いから、用心して人と会わないでおこう」となど、自分はどう行動するかを決めるのは、人間だけの能力です。

今後起こりうる地球規模の気候変動、環境破壊、感染症などの「未知の状況」に対応していくには、「精選された知識を身につけて、デジタル技術を使いこなしながら、今、どう行動すべきか」を「思考・判断・表現」する力が、子どもたちにはなんとしても必要です。

今晚の夕飯のメニューについてから大丈夫です。すから、保護者のみなさんには、子どもたちの「考える力」を豊かに伸ばしていく問いかけを、ぜひ工夫してみてくださいませぬ。

## 思考力・判断力・表現力を伸ばす5つの習慣

### 1 「理由」を聞く

「今、いちばん好きなYouTuberは誰？」と聞いて、子どもが答えたら「どして？」とたずねましょう。あまりしつこいと嫌がられますが、普段の生活で「ふうん、それはどうして？」「なんでそう思ったの？」と「理由」を聞くことを習慣にするといいですね。答え方に迷っているときは「こんなふうに言うんだよ」と助け船を出してあげて。

### 2 「自分軸」を大切に

「自立した人」「自律学習」といった言葉をよく聞くとします。大切なのは「自分軸」。「自分軸」とは、ほかの人に邪魔されず、自分自身で立てた目標やルールに従って行動すること。もちよと言え、他人の意見に流されず、「それは違うよ」と根拠を明らかにして説得することです。異なる国籍や文化の人々と協働する時代、「自分軸」が重要になってきます。

### 3 「テスト」をゴールにしない

新しい学力が広まるにつれ、普段のテストの問題も、深い思考を問う記述式問題が増えてくると予想されます。親としては、テストの点数がどうしても気になるものです。でも、「思考力・判断力・表現力」は短期間で身につくものではありません。テストの点数は通過点と考え、点数よりも、どんなふうにかえ、どのように答えを書いたのかに注目を。

### 4 「想像する力」をはくむ

「オバケエビは何色が好きなのかな？」と考え、懐中電灯に赤、黄、緑、青のセロファンを巻き付け、どの色の光にオバケエビがたくさん集まるかを、自由研究で調べた子どもがいました。一見突飛な発想に思えることも、方法を考え、推論を立て、実験し、考察することで、思わぬ発見につながることは、過去の科学の歴史が証明しています。まずは、子どもの「発想」や「想像」をおもしろがって。



### 5 学力の土台は「読解力」

AIを使った読解力の研究で知られる新井紀子さんは、「教科書が読めない、問題文を正しく把握できない子どもが増えている」と警鐘を鳴らしています。「読解力」は学力の基礎。新聞のコラムのような短い文章を読ませ、親子でそれについて話すなど、インプット（読む）とアウトプット（表現する）のくり返して、思考力・判断力・表現力の土台となる「読解力」を身につけて。

